

2002年5月13日

このファイルには、以下の項目に関する最新情報が記載されています。

HPノートブック コンピュータとWindowsに関する参照情報

注意事項

- ワンタッチ ボタンを再プログラムする
- ワイヤレスLANを使用する
- テレビをモニタとして使う
- シリアル デバイスを接続する
- 画像集約的なアプリケーションを実行する
- e-Diagtools 診断テストを実行する

Windows XP

Microsoft Plus!の使用は推奨しません。

Windows 2000

マルチ ディスプレイでDVDまたはマルチメディアを再生する

HPノートブック コンピュータを長持ちさせるために

- 取り扱い上の注意
- 一般的な使用の注意

参照情報

- * マニュアル『スタートアップ ガイド』には、ノートブック コンピュータの紹介と基本的な使い方が記載されているほか、トラブルシューティング情報もあります。
- * オンライン『リファレンス ガイド』には、オペレーティング システムのセットアップ、アクセサリの取り付けと接続、コンピュータの管理とアップグレードを行う方法が記載されています(本ガイドを表示するには、[スタート]、[ヘルプとサポート]、[HPライブラリ](Windows XP)、[スタート]、[プログラム]、[HPライブラリ](Windows 2000)の順にクリックします)。
- * 本機付属のMicrosoft Windowsマニュアルには、Windowsオペレーティング システムの標準機能の使い方が記載されています。
- * BIOSのアップデートとその他の技術情報については、以下のHP Webサイトをご覧ください。
<http://www.jpn.hp.com/go/notebook>

注意事項

データの消失など重大な問題が発生する可能性のある状況を避けるために、以下の点に注意してください。

データの読み書きをしているときは、データ記憶用のPCカードを取り外さないでください。データが壊れる恐れがあります。

アプリケーションの中には、作業ファイルを開いたままで、データに変更があるたびにファイルを更新するものがあります。リムーバブルディスク上(フロッピーディスクまたはPCカードなど)に開いたままのファイルがあると、ファイルが破損しやすい場合があるので、そのようなアプリケーションではリムーバブルディスク上のファイルは使用せず、開くのはハード ドライブ上のファイルのみにしてください。

本機をサスペンド、ドッキング、またはドッキング解除する前に、必ずデータを保存し、使用中のアプリケーションをすべて閉じてください。電源管理機能のないアプリケーション、オーディオ/ビデオアプリケー

ション、PCカードやCD-ROMなどのI/Oデバイスを使用するアプリケーションの場合は特に注意してください。

ワンタッチ ボタンを再プログラムする

Internet および E-Mailワンタッチボタンを押すと、インターネットのホームページやEメール用ソフトウェアが自動的に開きます。これらのボタンの設定を変更する場合は(ボタンの動作を変更することはできません)、弊社Webサイト (www.hp.com/go/bizsupport) から最新のOne-Touchソフトウェアをダウンロードしてください。

ワイヤレスLANを使用する

ワイヤレスLANの設定に関しては、以下の記述を参考にしてください。

- * Windows 2000を実行している場合、[スタート]メニューからワイヤレス設定ウィンドウを開くことができない場合があります。このようなときは、タスクバーのワイヤレスアイコンをクリックして、設定ウィンドウを開いてください。
- * Windows 2000を実行しており、お使いのワイヤレス ネットワークが共有認証を使用している場合、Windowsデバイス マネージャで認証オプションを変更する必要があります。デバイス マネージャを開き、ネットワーク デバイスのツリーを展開表示し、802.11デバイスをダブルクリックします。[詳細] タブで、認証アルゴリズムの設定を共有オプションに変更します。
- * アクセス ポイント経由でワイヤレス ネットワークに接続する場合、本機がネットワーク リソースを使用できるようにする必要があります。ログオン時に本機がネットワーク リソースに接続できない場合、本機にIPアドレスが割り当てられていない可能性があります。Windows 2000の場合、IPアドレスをチェックするには、[スタート]、[プログラム]、[アクセサリ]、[コマンドプロンプト]の順にクリックし、ipconfigと入力します。ワイヤレス接続のサブネット マスクが255.255.000.000の場合、ネットワーク サーバが本機にIPアドレスを割り当てていないので、ネットワークIPアドレスを解放して更新する必要があります。これについては下記のreadmeファイルを参照してください。それでも問題が解決しない場合、アクセス ポイントをリブートしてみてください。
- * 他のアクセス ポイントに接続するためにSSIDを別の値に変更する場合、またはインフラストラクチャ モードからアドホック モードに変更する場合、先にインターネットIPアドレスを解放して更新する必要があります。下記のreadmeファイルを参照してください。

ワイヤレスLAN接続の設定や使用に関して問題が生じた場合、`c:\hp\Drivers\Wireless\Readme.txt`の中のワイヤレスLANに関する記述を参照してください。

テレビをモニタとして使う

テレビを本機のSビデオ ポートに接続する場合は、次の注意事項にしたがってください。

- * 最高の品質と動作を可能とするためには、Sビデオ入力端子付きのテレビを使用し、コンピュータとテレビをSビデオ ケーブルで接続します。コンポジット RCAフォノ コネクタだけしか使用できない場合は、品質の良い標準ケーブルの使用をお勧めします。ただし、一部のSビデオ/コンポジットアダプタには、このアプリケーションに対応していないものがあります。詳細については、HP カスタマ ケア センターにお問い合わせください。
- * コンピュータのディスプレイとテレビの切り替えを何度も行ったあとに電源ボタン(スタンバイ モード)を押さないようにしてください。出力先の切り替えを何度も行ったあとにスタンバイ モードに移行すると、本機が応答しなくなる場合があります。これを防ぐには、コントロールパネルの[電源オプション]で、テレビの使用中に自動的にスタンバイ モードにならないようにスタンバイのタイムアウトを設定しておきます。また、電源ボタンを押したり、ディスプレイを切り替えるときは、作業内容を保存しておい

てください。ソフトウェアアップデートの最新情報は、弊社Business Support Webサイト (www.hp.com/go/bizsupport) をご覧ください。

シリアル デバイスを接続する

本機にシリアル ポートは実装されていませんが、USB-シリアルアダプタを使用することで、シリアル デバイスをUSBポートに接続することができます。また、ポートリプリケータには、シリアル デバイス接続用のシリアル ポートがあります。

画像集約的なアプリケーションを実行する

本機はFn + F5 を押して、内蔵ディスプレイと外部ディスプレイを切り替えることができます。ただし、マルチメディアやOpenGLなど画像集約的なアプリケーションの実行中に切り替えることは避けてください。ディスプレイの切り替えが、ビデオの破損やアプリケーションのシャットダウンの原因になることがあります。

また画像集約的なアプリケーションの実行中に、電源ボタンを押すことも避けてください。アプリケーションやコンピュータのロックアップの原因となることがあります。

e-Diagtools 診断テストを実行する

e-Diagtools 診断テストを実行するには、コンピュータをリブートし、HPロゴが表示されたら、[F10] を押します。Windowsから診断テストを実行する場合は、e-Diagtools for Windows プログラムを使用しますが、予期せぬ問題を避けるため、e-Diagtools for Windowsを起動する前に、コンピュータがスタンバイまたはハイバネート モードになっていないことを確認してください。

Windows XP

Microsoft Plus!の使用は推奨しません。

Microsoft Plus! for Windows XP はノートブック コンピュータでの使用に適していません。Microsoft Plus! にはデジタル メディア ツール、3-D グラフィックスおよびアニメーション、3-Dゲーム ソフトウェアなどが組み込まれています。これらの機能は本来デスクトップ コンピュータ向けのため、ノートブック コンピュータで使用すると、バッテリー持続時間を大幅に減らすことになります。

Windows 2000

マルチディスプレイでDVDまたはマルチメディアを再生する

マルチディスプレイでDVDなどのマルチメディアを再生するときに表示品質が悪かったり、エラーメッセージが表示される場合は、画面設定を解像度1024x768、ハイカラー (16ビット) 以下に設定してください。設定を変更したら、本機を再起動します。

HPノートブック コンピュータを長持ちさせるために

ここでは、HPノートブック コンピュータを長持ちさせるために、毎日の使用で注意すること、物理的な損傷やデータの消失を防止する方法について説明します。ハードディスク ドライブおよびその他の内部コンポーネントは精密部品なので、取り扱いや操作を誤ると損傷しやすい部分です。

取り扱い上の注意

* 振動や衝撃を与えないでください。

- 携帯時は、前もってサスペンドまたはシャット ダウンしてください。これによりハードディスクの電源がオフになります。ハードディスクが稼働している状態で、万一本機を落とした場合、たとえ低い場所から落としてもハードディスクが破損したり、データが消失したりする可能性があります。
- 振動や衝撃から守るため、本機はソフトケースに入れて携帯してください。
- 本機を台に置くときは、手を添えて静かに置いてください。落としたり、ぶついたりしないように十分にお気をつけください。
- 激しい揺れのある場所で使用しないでください。

* 本体装置周辺で十分な換気が行われるように注意し、キャリング ケースなどに入れる前には、サスペンドモードにするか、電源をオフにしてください。

* ディスプレイ部分を持ち上げたり、ディスプレイをつかんで持ち運ばないでください。

* 屋外では、雨または雪などの悪天候時や、温度や湿度が通常と極端に異なる場合は使用しないでください。

諸注意

* ディスプレイの輝度を見やすい範囲でなるべく低くしてください。バッテリーの持続時間を延ばすことができます。

* 作業中のファイルは、フロッピー、テープ、またはネットワーク ドライブにコピーして、定期的にバックアップを行ってください。

* ウィルス スキャンプログラム (自動的に起動するプログラムを推奨) を使用して、ファイルとオペレーティング システムを定期的に検査してください。また、「スキャンディスク」と「デフラグ」ユーティリティを使ったディスクの検査も行ってください。

HPノートブック コンピュータの起動と終了方法の詳細については、付属マニュアルをお読みください。

- 以上 -